

地方分権推進連盟 第一回総会の開催によせて

このたびの地方分権推進連盟の設立ならびに第一回総会の開催にあたり、衷心より、お祝い申し上げます。

現在、政府においては、小泉内閣の最優先課題の一つとして、地方の権限と責任を大幅に拡大するとともに、国・地方を通じた行政のスリム化を図る観点から、いわゆる「三位一体の改革」を進めているところです。

昨年は、地方六団体から、国庫補助負担金改革に係る具体的な御提案を頂き、これをもとに検討を重ねた結果、去る十一月末に政府・与党の合意という形で三位一体の改革の全体像を取りまとめるに至りました。

現在、この全体像を反映した平成十七年度予算が国会に提出されており、今後審議されていく予定です。また、平成十七年中に検討することとされている課題もあります。

今後とも、地方自治の本来の姿の実現に向け、改革の推進に努めて参りますが、皆様におかれましても、地方自治の本旨にのっとり、責任を伴う地方分権の確立に向け、さらなる御努力と御協力を賜りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本連盟が今後、御発展されますこと、御祈念申し上げます。

平成十七年一月二十八日

財務大臣

谷垣禎一